

いよいよ
発足!

群馬中小企業家同友会

『富岡支部設立総会』のご案内

記念講演は お知り合いの経営者にも ぜひお声掛けください!

県下全域から、ぜひお祝いに駆けつけてください!

2017年5月、県内8番目の支部として、いよいよ“富岡支部”が発足します。
つきましては、下記において『富岡支部設立総会』を開催いたします。
第二部の記念講演では、群馬同友会の代表理事をつとめるグリーンリーフ(株)の澤浦社長(沼田支部所属)を迎えます。万障お繰り合わせの上ご出席いただきたく、ご案内申し上げます。

群馬中小企業家同友会
仲間づくり委員長 田村徳良

記

- ◆日時 / 2017年5月19日(金) 17時受付 17時30分 開会
- ◆内容 / ■第一部/設立総会 17:30~ ■第二部/記念講演 18:00~ ■第三部/設立祝賀会 19:30~
- ◆会場 / 「ホテルアミューズ富岡」 TEL;0279-23-4122
- ◆会費 / 4,000円(祝賀会参加費) ※記念講演までは参加無料

【記念講演テーマ】

『感動農業、人づくり・土づくり』 ～同友会での学びが我が社を変えた!～

講師 グリーンリーフ(株)代表取締役
群馬中小企業家同友会代表理事 澤浦彰治氏



1964年、群馬県昭和村生まれ。1983年群馬県立利根農林高等学校を卒業後、群馬県畜産試験場での研修を経て実家にて就農。こんにやく価格の暴落をきっかけにこんにやくの製品加工に着手。
1992年、3人の仲間とともに有機農業グループ「昭和野菜くらぶ」を立ち上げ、有機栽培を本格的に開始する。94年、家業を農業生産法人化(現グリーンリーフ株式会社)させる。96年、有限会社野菜くらぶを設立、2002年には株式会社化。2008年にはグリーンリーフが第47回農林水産祭において、蚕糸・地域特産部門で「天皇杯」を受賞。2016年には、敷地内に「託児所」を開設し、子育て支援の体制も整え、世代別の様々な働き方にも対応している。

(※会社概要はこちら→<http://www.akn.jp/company/gaiyou.html>)
著書に『農業で成功する人うまくいかない人』『小さく始めて農業で利益を出し続ける7つのルール』がある。
沼田支部長、経営研究部会長、副代表理事を歴任し、2013年度から群馬中小企業家同友会代表理事。

☆経営者としての手腕が高く評価され、メディアにも頻繁に取り上げられる澤浦氏。農業関係者のみならず、幾多の業界から常に注目され続ける澤浦氏の講演から企業経営の真髄を学びます!

◆連絡先/群馬中小企業家同友会 事務局 TEL;027-232-0001 FAX;027-232-0666

-----きりとり-----

5月19日開催「富岡支部設立総会」参加申込書

出席します…(参加に○印→総会・記念講演 ___名・祝賀会 ___名)

会社名 _____ 氏名 _____

群馬中小企業家同友会
会 員 各 位

2017年4月吉日
群馬中小企業家同友会
代表理事 山岸 良一
代表理事 澤浦 彰治
広報委員長 平岩 健男

『同友ぐんま (通常号)』 広告掲載のお願い

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、広報委員会では、機関誌である「同友ぐんま」を毎月定期発行しています。

つきましては、発行にあたり、会員の皆様に同友ぐんま (通常号・上半期分) への広告掲載をお願い申し上げる次第です。

何卒ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

敬具

- 【掲載予定】 上半期6回 (6~11月号)
【広告料】 2万円 (一口×6回掲載)
【スペース】 縦48mm×横87mm (一口分)
【送付先】 会員企業・オブザーバー参加企業・行政機関 など
☆群馬同友会HPにも「同友ぐんま」が掲載されます

* ご掲載いただけます場合には、お手数ですが下記申込書をご記入の上、**5月19日までに**FAXにてお送り下さいますようお願い申し上げます (電話でも受付ます)。

事務局 TEL027-232-0001

FAX 027-232-0666

-----キ-----リ-----ト-----リ-----セ-----ン-----

『同友ぐんま通常号・上半期』 広告掲載申込書

* 申込口数 _____ 口

* 原稿は右の通りです →

※前回の広告流用の際は、その旨お書き添えください。

会社名 _____

氏 名 _____

会員の皆様へ

---群馬中小企業家同友会 経営指針部会主催---

第22期「経営指針をつくる会」オリエンテーション

～経営指針てなに？ どうして必要なの？～

「同友会に参加すると何かにつけて“経営指針が大事”って言うけれど…実際のところ経営指針て何？ どうして必要なの？ つくる会では何をしてるの？」。そんな会員の皆さんに朗報！ 第22期「経営指針をつくる会」がスタートする前月に、昨年好評だった「オリエンテーション(参加募集説明会)」を下記日程で開催します。前述の答えが知りたい方はもとより、参加を迷っている方、内容を知ってから決めたい方など、「経営指針をつくる会」への理解と参加を判断する機会にさせていただければ幸いです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

群馬中小企業家同友会
経営指針部会長 戸塚美秀

【開催概要(予定)】

◆日時 **6月14日(水) 18時30分受付 19時～21時**

◆会場 **同友会事務所 会議室**

前橋市西片貝町1-300-5 ルアン第2ビル4F TEL:027-232-0001

◆参加費 **無料**

◆内容 **①同友会がめざす経営指針とは？**

グリーンフ(株) 代表取締役 澤浦彰治 氏
(群馬同友会 代表理事)



②経営指針作成で我が社はこう変わった！

(株)アイテクシステム 代表取締役 戸塚美秀 氏
(経営指針部会 部会長)

③開催概要・カリキュラムの説明

(株)邦和 代表取締役 丹羽孝宜 氏
(経営指針部会 副部会長)



同友会事務局 TEL:027-232-0001

返信FAX:027-232-0666

第22期「経営指針をつくる会」オリエンテーション 参加申込用紙

会社名	役職	氏名	備考

厳しい時代に負けない企業づくりを実践しよう！

第22期『経営指針をつくる会』参加者募集！

～「継続は力なり」参加するたびに会社が強くなる！～

同友会では「経営理念」「経営方針」「経営計画」の3つを総称して「経営指針」と呼んでいます。経営指針を作成する事は、航海に例えればその目的を全乗組員に明らかにし、航路と航海日程、航海図や羅針盤を整備し、トップである船長以下、全乗組員が力を合わせて目的地に進むということです。

同友会では会員同士、切磋琢磨する中で指針書を成文化し、社内へ指針書の浸透を図っていきます。環境変化を正確に分析し、自社の強みを伸ばし、弱みを補い、全社一丸となって強靱な会社をつくるために、是非「経営指針をつくる会」にご参加ください！

群馬中小企業家同友会
経営指針部会長 戸塚美香

幹部社員と共につくる経営指針!!

■期 日 2017年7月～2018年2月にわたる全6講座（一泊二日×6回）
各講とも初日は午前9時開会、翌日は午後5時閉会を予定

■会 場 ①ニューサンピア 高崎市島野町1333 TEL:027-353-1168 [1・2・5講]
②ホテルアミューズ富岡 富岡市富岡245-1 TEL:0274-64-3636 [3・4講]
③その他 未定 [6講 発表会]

■参加条件 1. 是非とも「成文化」し、浸透させたいという強い熱意のある方
2. 全日程に参加できる方（原則として）
3. 自社の財務内容の必要な部分を公開できる方（秘密は厳守します）

★幹部の方と一緒にご参加ください。もちろん1人での参加もOKです。
★申込者が都合で欠席となってしまう日は、代理出席も可能です。
★全受講者+α、部分的な追加参加も受け付けます（1名1日1万円）。
★補講（2～3回）では、個別指導も受けられます。
★初参加者と連続参加者のプログラムを一部分けて実施します。

■受講料 1社1名：140,000円（1泊4食×6回、懇親会費ほか、すべての諸経費を含む）
（全講） 1社2名：一人130,000円 1社3名以上：一人120,000円

《分割相談せず》 ★前期からの連続参加の場合は、一律120,000円となります！
★全日程とも宿泊不要の方のみ、上記より2万円減額します。

■用意するもの 過去3年間の損益決算書、貸借対照表、減価償却明細書、得意先・商品別売上表、電卓、ノート、筆記用具

■申込締切 最終〆切：7月21日 ■定員35名 ※定員になり次第締め切ります。

■申込方法 参加申込書にご記入の上、お早めにFAXにてご返送下さい。

■振込先 申込後、受講料を下記口座にお振込みください。※受講料の返却はできません。
群馬銀行 片貝支店 [普]0296143 群馬中小企業家同友会
（振込手数料は貴社にてご負担ください）

■持ち物・スケジュール等、詳細につきましては、後日、ご連絡致します。

● 第22期「経営指針をつくる会」日程と主な内容 ●

講座・テーマ	日 時	主 な 内 容
★第1講★ 「経営理念の作成と 深掘り」	7月28日(金) ～7月29日(土) 《1泊2日》	1) 経営指針書作成の目的と全体像 2) 体験談「わが社はこう変わった」 3) 経営理念について考える
★第2講★ 「経営理念のまとめと 自社分析」	8月25日(金) ～8月26日(土) 《1泊2日》	1) 経営理念の発表と意見交換 2) 講義「方針が会社に必要なわけ」 3) 商品、顧客、市場、人財の分析
★第3講★ 「経営方針の絞り込み と策定」	10月6日(金) ～10月7日(土) 《1泊2日》	1) 中期経営方針・年度方針の作成 2) 人財・財務、商品、顧客に対する方針 3) 組織図と会議制度の大切さ
★第4講★ 「経営計画づくりと 問題点の抽出」	11月17日(金) ～11月18日(土) 《1泊2日》	1) 売上計画の立て方 2) 経費計画の立て方 3) 講義「試算表と問題点の抽出」
★第5講★ 「経営計画づくりと 行動計画の作成」	12月15日(金) ～12月16日(土) 《1泊2日》	1) 営業計画・開発計画etc. の作成 2) 個人目標と行動計画 3) 理念から計画までのまとめ
★第6講★ 「経営指針発表会」	2月未定 ～ 《1泊2日》	1) 各社経営指針書の発表 2) 意見交換とアドバイス 3) 講義「経営指針書をどう活かすか」

《経営指針作成のメリット》

- ①企業経営に対する経営者の責務が明確になり、経営者自身の使命感、意欲を高めることができる。
- ②会社の目標が明確になり、社員のヤル気を引き出し、企業全体のパワーアップがはかれる。
- ③企業の社会的役割、性格、将来ビジョンが明確になるため、社員が企業に誇りをもち、働く意欲を増進させる。
- ④企業で今後採用すべき人材と、社員教育の方向が明確になることから、社員が自主的に学ぶ気風を職場に定着させることができる。
- ⑤社内の信頼関係を強め、団結がより強固なものになる。
- ⑥顧客・取引先・銀行など対外的にも信頼を得ることができる。

《経営指針部会・2017年度活動方針》

経営指針に基づく「人を生かす経営実践企業」の実現を支援し、「幹部社員と共にまとめ上げる経営指針書」の継続的な作成と、指針の共有化に依る「全員参加型経営」を推奨していきます。また、参加企業の輪を広げると共に、連続参加企業にも魅力的で、より充実した「経営指針をつくる会」を開催します。

【第22期「経営指針をつくる会」参加申込書】 担当者名 _____

* 欄が足りない場合はコピーしてご記入ください。

同友会 FAX:027-232-0666

会 社 名	氏 名	役 職	備 考

【問合せ先】 群馬中小企業家同友会・事務局 TEL:027-232-0001 FAX:232-0666

経営指針をつくる会参加者の声

※抜粋

■自社の課題が明確に

指針づくりを通して、今まで曖昧だった会社の課題が明確になり、具体的な行動計画を立てることが出来ました。今期は行動計画に従って改善に専念し、再び経営指針をつくる会に参加しながら検証と計画づくりに、取り組んでいきたいと思えます。

■毎年参加する意義

何度も参加されている企業の完成度の高さ、考え方などがとても参考になりました。経営指針を見直し続けることの意義を理解しました。これから自社も毎年参加し、時間をかけて完成度を上げていきたいです。

■経営者としてのスタート

これまで資金繰りは社長に任せっぱなしでしたので、経営者とは言え、苦手な数字は避け、理念においても特に強い思いも持っていませんでした。そんな自分でもやりたいことが見えたように思います。「どこがわからないのかわからない…」というスタートでしたが、わからない箇所が明確になったのはかなりの進歩でした(笑)。

■幹部社員と参加して

経営指針をつくる会に参加して、多くの会社の経営指針を参考にできた事は、大きな収穫でした。その中で、自社の指針に足りないものが見えてきたような気がします。また、幹部と共に参加し、とてもいい刺激になったと思えます。次年度も共に計画をつくり込んでいくつもりです。

■会社への思いがより強く

自分の考えが整理でき、よりいっそう会社を思う気持ちが強くなったと実感しています。経営指針が何かも分からずに参加しましたが、参加して本当に良かったです。毎年続けて作成するよう頑張ります。

■共に成長する姿に感動

会社の経営状況がどうなっているかが理解できるようになり、自分が何をしなければならぬかが少しずつ見えてきました。また、自分の会社を良くして行こうという経営者の方々が、共に成長している姿に感動しました。共に頑張る仲間がいるから、さらに頑張れるのだと思えます。

■これからが本番

指針書を会社に浸透させるなかで色々と問題点も見えてきました。これからが本番だと感じています。そうしたプロセスを新しく参加する皆さんにもお伝えできればと思います。自分の会社が良くなること、仲間の会社も良くなることを、この会で実践していきたいです。

■必要不可欠な時間

経営指針づくりは未来を見据える作業だと思います。未来を見るために過去を知ることとか、外部環境、内部環境、同業他社を知ることにも必要です。そして自分は何をしたいのか、ビジョンも深掘しなればなりません。この時間は必要不可欠だと思います。

■後継者とともに

長年、継続して参加していますが、今回初めて後継者とともに参加しました。じっくり決算書を見ながら意見交換するなど、日頃の社内での慌ただしい時間とは違った時を過ごすせて有意義でした。とても感謝しています。